



夢のある

～住みよいまち、住みたくなるまちを目指して～

一昨年秋からの、世界的な経済危機や国政にあっては政権交代による大幅な制度改革など、急激な変化かつ不透明な局面を迎え、本町においても昨年の法人町民税の激減に続き、本年度はさらに個人町民税も大幅に減少する見込みなど、大変厳しい財政状況にあり事務事業の見直しを図ってまいりました。

このような社会経済情勢の中、平成22年度予算は、第5次総合計画を指針に、持続可能で健全な財政運営に努め、住民サービスの維持・向上と町政の健全性の両面のバランスを執り、「変革に対応し持続可能な住みたくなるまち」の実現を目指し、人命・財産にかかる安全・安心問題を最優先に取り組み、子育て支援・障害者支援などの施策に配慮した予算を編成いたしました。



幸田町長
近藤 徳光

平成22年度 当初予算

● 一般会計

予算総額

126億4,000万円

一般会計は、町が行う仕事の大部分を賄う予算で、町税や国・県からの支出金などを財源にしているもので、町民の皆さんに最も関わりの深い予算といえます。

● 特別会計

予算総額(8特別会計)

63億5,730万円

特別会計は、特定の財源で特定の事業を行うもので、土地取得特別会計・国民健康保険特別会計・老人保健特別会計・後期高齢者医療特別会計・介護保険特別会計・幸田駅前土地区画整理事業特別会計・農業集落排水事業特別会計・下水道事業特別会計があります。

● 企業会計

収益的支出

6億6,408万円

資本的支出

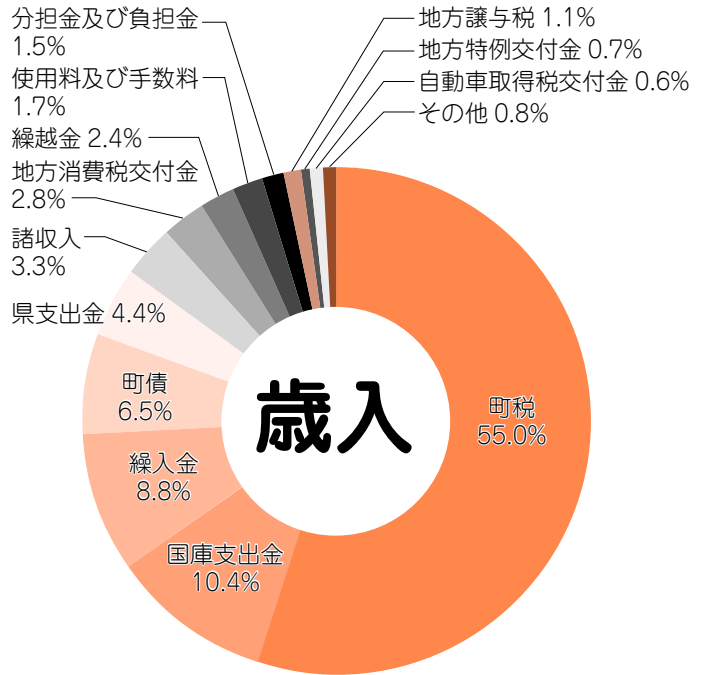
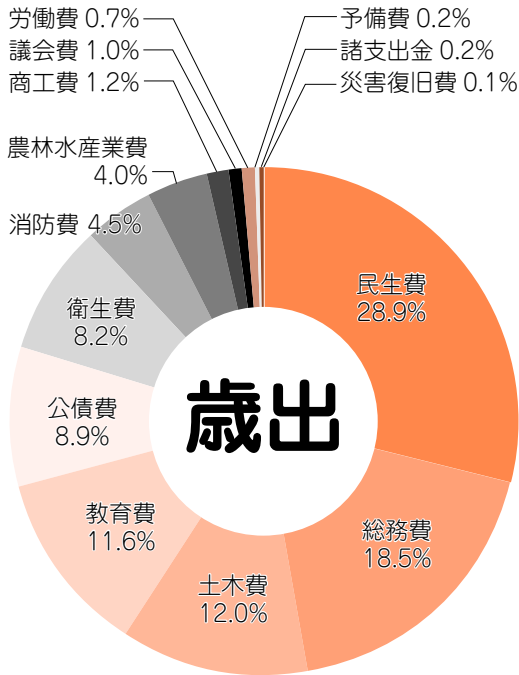
7億5,035万円

企業会計は、税金を使わず、一つの会社のように独立採算制で事業・経理を行うものです。本町では、水道事業会計がこれにあたります。

会計区分	平成22年度予算	平成21年度予算	伸比率(%)
一般会計	126億4,000万円	122億8,000万円	2.9
特別会計			
土地取得特別会計	2億679万円	4億5,606万円	▲54.7
国民健康保険特別会計	29億2,458万円	29億1,242万円	0.4
老人保健特別会計	236万円	2,077万円	▲88.7
後期高齢者医療特別会計	2億7,054万円	2億4,032万円	12.6
介護保険特別会計	12億8,177万円	12億3,432万円	3.8
幸田駅前土地区画整理事業特別会計	5億376万円	2億7,655万円	82.2
農業集落排水事業特別会計	4億1,884万円	4億5,693万円	▲8.3
下水道事業特別会計	7億4,866万円	9億2,444万円	▲19.0
水道事業			
収益的支出	6億6,408万円	6億8,710万円	▲3.3
資本的支出	7億5,035万円	5億2,402万円	43.2
合計	204億1,173万円	200億1,293万円	2.0

平成22年度幸田町一般会計

歳入歳出予算総額 126億4,000万円



歳出

歳出を費目別に見ると、民生費が全体の28.9%を占め、次いで総務費18.5%、土木費12.0%となっています。その中で、民生費が子ども手当の支給により、前年度に比べ5億3千万円(16.8%増)と大幅に伸びましたが、子ども手当関連支出を除いた歳出の総額では、前年度に対して1.5%の減少となりました。

歳入

最も大きな割合を占めている町税が、個人所得の減少により、前年度に比べ7億1千万円の大幅な減となり、全体の55.0%となり、構成比では7.4%減となっています。また、子ども手当の支給などにより国庫支出金が、前年度に比べ8億1千万円の大幅な増となり、全体の10.4%(前年4.1%)を占め、大幅に伸びています。

主な区分の内容

歳入…1年間のすべての収入

〔町税〕 町民税、固定資産税、軽自動車税、たばこ税など歳入の貴重な財源。

〔国庫(県)支出金〕 特定の事業の財源の一部として、国(県)から支出されるお金。

〔地方譲与税〕 国税として徴収し、地方に譲与する地方揮発油譲与税、自動車重量譲与税

〔町債〕 大きな事業を行うために、国や金融機関などから借りるお金。

歳出…1年間のすべての支出

〔民生費〕 お年寄りや子ども、障害者など福祉や医療などに使われるお金。

〔教育費〕 小・中学校、ハッピーネス・ヒル・幸田の運営やスポーツ振興・生涯学習事業などに使われるお金。

〔総務費〕 町職員の給与や町の財産の管理などに使われるお金。
〔公債費〕 町債を返済するお金。

主要な施策

①安全で快適な都市の 基盤・生活の環境づくり

市民が安全で安心して暮らすことができるよう、安全性、利便性、快適性の高い都市環境の整備に努めます。

●安全・安心対策

- ・防災遠視カメラによる監視
- ・民間木造住宅耐震診断、耐震改修支援

●消防・救急

- ・中央小防災備蓄倉庫設置
- ・自主防災組織育成
- ・自主防炎会可搬動力ポンプ更新
- ・高規格救急車更新
- ・防火水槽設置
- ・消防救急無線デジタル化基本策定
- ・新型インフルエンザ対策医薬材料整備

●交通・防犯

- ・地域安全ステーション運営
- ・自主防犯活動支援
- ・防犯灯設置
- ・通学路簡易歩道整備
- ・消費生活の安定向上

●道路・橋梁整備

- ・長嶺大草1号線、永野菱池1号線他道路整備
- ・生活道路の舗装、側溝整備
- ・橋梁点検調査

- ・橋梁修繕（21年度繰越明許事業）
- 基盤整備
- ・新駅および自由通路設置
- ・新駅駐車場、周辺道路整備
- ・区画整理新規地区（岩堀・六栗・里）推進

●下水道（公共下水・集落排水）

- ・幸田駅前地区土地区画整理推進
- ・相見・中部・南部処理分区の整備推進
- ・矢作川流域下水道建設負担
- ・農業集落排水事業13地区維持管理
- ・4地区（大草・須美・高力・桐山）の農業集落排水処理場機能強化対策

●上水道

- ・第3受水点配水池築造
- ・ライフライン機能強化
- ・土地区画整理事業関連配水管敷設



▲工事が開始された新駅

②環境と調和する まちづくり

自然との共生を図り、緑豊かで環境に優しいまちづくりを推進します。

●環境対策

- ・住宅用太陽光発電システム設置支援
- ・保健センター太陽光発電設備、LED照明等設置
- ・COP10推進
- ・森と緑づくり環境活動、学習
- ・循環型社会の構築（ごみ排出抑制資源化推進）
- ・生ごみ堆肥化等支援
- ・電動アシスト自転車普及

●都市公園整備

- ・森と緑づくり都市緑化推進
- ・公園遊具・施設整備補修

③多様な産業が育つ まちづくり

培われた地域産業を生かし、まち全体の調和の中で創造性の高い産業振興に努めます。

●農村・農林業振興

- ・里山林健全化整備
- ・集落環境整備
- ・農地・水・環境保全向上対策（花いっぱい運動）
- ・産業まつり

●商工・観光・勤労者対策

- ・鳥獣害対策電柵補助
- ・緊急雇用対策

町民一人当たりの予算の使い道（一般会計）

33万7,995円

（前年度金額 32万8,958円）

* 予算額を平成22年3月1日現在の幸田町の人口3万7,397人で割って算出しました（1円未満四捨五入）

1	民生費	9万7,687円	（16.6%増↗）
2	総務費	6万2,605円	（23.6%増↗）
3	土木費	4万451円	（19.2%減↘）
4	教育費	3万9,335円	（14.4%減↘）
5	公債費	3万214円	（6.8%増↗）
6	衛生費	2万7,825円	（0.4%増↗）
7	消防費	1万5,141円	（4.9%減↘）
8	農林水産業費	1万3,425円	（20.9%減↘）
9	商工費	4,022円	（5.8%増↗）
10	議会費	3,501円	（1.5%減↘）
11	労働費	2,308円	（130.1%増↗）
12	その他	1,481円	（16.7%増↗）
	合計	33万7,995円	（2.7%増↗）



▲開設された
障害者地域活動支援センター
つどい作業所

- ・ がんばる商店街推進
 - ・ 優良企業の誘致推進
 - ・ 商工業経営安定対策の推進
 - ・ 勤労者住宅資金利子補給
彦左まつり
- ④健康・福祉のまちづくり
- 町民一人一人が、心身ともに健康で生きがいをもって暮らしていける地域社会を形成していきます。
- 健康づくり
- ・ 女性特有のがん検診
 - ・ 一般不妊治療費助成
 - ・ みんなで育む健康こうた21計画の推進
 - ・ 各種健診、予防接種の実施
 - ・ 健康福祉まつり
- 高齢者、障害者福祉・介護保険
- ・ つどい作業所開設
 - ・ 障害者自立支援の推進
 - ・ 介護予防対策の推進
 - ・ 日常生活用具、補装具給付



▲奈良文化財研究所で行われている出土品の整理作業

- 児童福祉・保育園整備
- ・ 子ども手当支給
 - ・ 子ども医療費無料化継続
 - ・ 子ども権利条例策定
 - ・ 次世代育成支援後期行動計画の推進
- ⑤地域文化・人づくり
- ライフステージに応じた教育・文化・学習活動の場づくり、環境づくりなど生涯学習の推進に努めるとともに、将来を担う子どもたちの健全育成を推進します。また、地域コミュニティ意識の醸成を図り、豊かな地域社会づくりを形成していきます。
- 社会教育
- ・ 生涯学習講座開催
 - ・ 本光寺文化財調査
 - ・ 子ども読書活動計画の推進
 - ・ 男女共同参画プランの推進
 - ・ 青少年健全育成
成人式
 - ・ 夏まつり、凧揚げまつり
- スポーツ振興
- ・ スポーツ教室開催
 - ・ 町民スポーツ大会開催
 - ・ 地区スポーツ大会支援
 - ・ 町民大運動会開催
 - ・ 新春駅伝・ファミリージュヨギン
グ大会開催
- 学校教育
- ・ 中央小体育館改築（21年度繰越
明許事業）
 - ・ 荻谷小、深溝小給食工レベーター
棟改築（21年度繰越明許事業）
 - ・ 幸田小印刷室増築
 - ・ 少人数、通級指導対応教育の推進
 - ・ 日本語指導教員、母国語対応支援員配置
 - ・ 外国人英語講師配置
 - ・ 奨学金制度
 - ・ 地域に根ざした学校づくり
 - ・ 教育相談活動の充実
 - ・ 中学生海外派遣
- 国際化推進
- ・ 国際交流事業補助
- コミュニティ
- ・ 地区集会所施設維持管理
 - ・ コミュニティ活動支援

⑥健全な行財政による 確かなまちづくり

住民が積極的に行政に参加できる開かれたまちの実現を目指します。また、長期的な視点にたった健全な行財政運営の確立に努めます。

●情報公開推進

- ・ 広報紙発行
- ・ 町政モニター
- ・ ケーブルテレビ番組作成

●指定管理者制度

- ・ ハッピーネス・ヒル・幸田
- ・ 高齢者生きがいセンター及び高齢者ふれあいプラザ
- ・ 道の駅「筆柿の里・幸田」

●行財政運営

- ・ 行政改革大綱に基づく事務改善の推進
- ・ 行政評価による事務事業の効率化
- ・ 公債費の抑制

本町の行財政運営は、税収の激減により大変厳しい状況下にあります。が、経常的な物件費（消耗品など）を一律10%カットや補助費を始めとした歳出削減など、行財政改革による事務事業の見直しを行い、まちの未来を見据えた施策を推進していきます。

諸施策の実施にあたりましては、町民の皆さまとの対話の中からいただいた貴重なご意見を可能な限り取り入れ、住民の目線に立ち、スリムで効率的な行財政運営を目指していきます。

問合せ 財政課財政G（内線3332）